学校だより
ときわ
宇部市立常盤小学校
第１０号
２０１７年２月発行

きちんとそうじができること
～幸せに生きていく力を育てたい～

平成２９年が始まって１ヶ月が過ぎようとしています。夜明けも日に日に早くなり、春が少し待ち遠しくもあります。この時期一年中で一番寒さの厳しいときです。
常盤小学校では、昼の給食後にすぐに掃除がはじまります。
私もこの時間はできるだけ掃除をするようにしているところです。

子どもたちのそうじの様子はさまざまですが、**本校の子どもたちは一生懸命にそうじができる子どもがとても多いです。**この時期水道の水は本当に冷たく、ぞうきんを洗って、絞る、を繰り返していると、手も痺れてきます。でも、もくもくとふきそうじができる子どもがたくさんいます。
外では、冷たい風が吹く中、花壇の草抜きや校舎周辺の掃き掃除、一輪車（手押し車）でごみ集めなども一生懸命にしています。本当にありがたい、うれしい場面です。

数年前でしたか、曹洞宗 総持寺の大童法慧（山口県出身）さんとお話しする機会に恵まれたことがあります。その中で掃除についての話題になったとき、
「朝、真っ暗な中で床を磨く、一生懸命磨く、みんな自分自身の心にある「面倒くさいな」「やりたくないなぁ」「何でこんなことを･･･」というような気持ちを繰り返し繰り返しふきとっているんです。掃いているんです」と、話しておられました。
その語り口調と魅力あるお人柄がとても印象的でした。

ややもすれば面倒くさいと感じる掃除ですが、子どもたちに
「面倒なこととうまく付き合うこと」
「よい習慣をつけてやること」

これらは子どもたちが将来、幸せに生きていく力の一つだと思っています。
私たち大人が がんばって！踏ん張って！ 子どもたちに見せたい姿でもあります。
今年平成２９年も「そうじができる」子どもたちに、教職員になっていきたいなと思います。
しばらくは寒さも厳しく、インフルエンザ等も流行ります。
ぜひ冬の体調管理にお努めくださいませ。

校 長 藤 永 靖 彦